

白浜町 議会だより

No.58

令和2年(2020)11月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会



秋晴れの下、元気にジャンプ！（富田小学校運動会）

CONTENTS

■ 令和2年第3回定例会、第3回臨時会	P. 2～5
■ 一般質問	P. 6～10
■ 町議会・町議会議長の主な動き	P. 11
■ 委員会活動	P. 12～13
■ 提出した意見書	P. 14～15
■ 次回定例会日程など	背表紙

▷▷ 令和2年第3回定例会 (9月1日～9月15日)

第1日

9月1日【開会、町長挨拶、提案理由の説明、議案審議】

- ・会期の決定
- ・議案の提案理由説明（専決処分の承認1件、条例改正2件、補正予算関係3件、報告2件）

第2・3日

9月10日【一般質問】

- ・堅田議員、長野議員、水上議員、廣畑議員、南議員

9月11日【一般質問】

- ・溝口議員、楠本議員、丸本議員、小森議員 《P6～P10に内容記載》

第4日

9月15日【提案理由の説明、議案審議、閉会】

- ・追加議案の提案理由説明（決算認定関係9件、報告3件、補正予算関係1件）
- ・議案審議（専決処分の承認1件、条例改正2件、補正予算関係4件）
- ・委員会発議案件（意見書の提出2件《P14～P15に内容記載》、閉会中の継続調査申出1件、閉会中の継続審査申出1件）
- ・決算審査特別委員会の設置



(白浜町営向平キャンプ村)

□条例改正

○白浜町営向平キャンブ村条例の一部を改正する条例について

町財政負担軽減のため、使用料を改定及び指定管理者制度の導入を行うため、所要の改正を行う

○白浜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴い、所要の改正を行う

□補正予算

○令和2年度白浜町一般会計補正予算(第6号)

・既定予算への補正額

1億円

・補正後の歳入歳出予算総額

156億3310万円

主な補正内容は次のとおり

★Ⅱ新型コロナウイルス対策

【総務費】

・緊急自然災害防止対策事業

820万円

羽衣地区の町有地落石防止対策工事

・財政調整基金積立金

800万円

★庁内リモート会議環境整備事業

100万円

【民生費】

★幼児教育・保育無償化実施円滑化事業

225万円

★保育所備品等整備事業

850万円

【農林水産業費】

・林業・木材産業成長産業化促進対策事業補助金

100万円

林業・木材産業成長産業化促進

100万円

林業・木材産業成長産業化促進

進対策事業補助の上乗せ支給分

【観光費】

★事業継続支援金

600万円

県の事業継続支援金の支給を受ける町内事業者への上乗せ助成の支援を行うため、事業費を増額

★町内事業者事業継続推進補助金

800万円

事業継続に向けて実施する新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等の取組みに対して支援を行うため、事業費を増額

【消防費】

・消防団車庫改築事業

220万円

白浜第11分団車庫建築事業の実施設計業務



洋式化

【教育費】

・トイレ洋式化改修工事費

1100万円

白浜第二小学校(校舎)

西富田小学校(体育館)

北富田小学校(体育館)

富田小学校(校舎・体育館)

★中学校施設整備事業

130万円

白浜中学校給食配膳室の空調設備整備及び手洗い場の整備

★幼稚園備品等整備事業

100万円

★学童保育所備品等整備事業

450万円

★行政事務等包括業務委託事業

274万円

小・中学校夏休みの短縮に伴う学校給食回数の増加分

○令和2年度白浜町一般会計補正予算(第7号)

・既定予算への補正額

6020万円

・補正後の歳入歳出予算総額

156億9330万円

主な補正内容は次のとおり

【衛生費】

★白浜町定期外インフルエンザ

予防接種費用助成事業

3820万円

新型コロナウイルス感染症との同時流行を防ぎ、医療機関

の負担を軽減するため、優先

対象者の予防接種費用を無償化

○令和2年度白浜町国民健康保険

事業特別会計補正予算(第2号)

・既定予算への補正額

3706万6千円

・補正後の歳入歳出予算総額

29億5006万6千円

○令和2年度白浜町介護保険特別会計補正予算(第2号)

・既定予算への補正額

1億1792万6千円

・補正後の歳入歳出予算総額

32億6992万4千円

□決算審査特別委員会の設置

令和元年度一般会計及び各特別会計の決算認定について、特別委員会を設置し、閉会中審査に継続審査することとした。

委員は次のとおり

【委員長】 廣畑 敏雄

【副委員長】 堅田 府利

【委員】 正木 秀男

南 勝弥

小森 一典

松田 剛治

令和2年第3回臨時会

令和2年第3回臨時会は、8

月7日招集、1日間の会期で開

催した。新型コロナウイルス感

染症対策に関し、早急に対応が

必要な議案2件及び専決処分3

件について、審議を行い、すべ

て全会一致で承認、可決した。

□補正予算

○令和2年度白浜町一般会計補正予算(第5号)

・既定予算への補正額

1億9900万円

・補正後の歳入歳出予算総額

155億3310万円

主な補正内容は次のとおり

【総務費】

★企業誘致リモート視察環境整備事業

250万円

行政視察等の感染防止対策のため、企業誘致やワーケーションの取組みをリモートで紹介

できる通信環境を整備

★避難所環境整備事業

1250万円

避難所における感染防止対策

のため、資機材等を整備

【民生費】

★新生児特別定額給付金事業

1670万円

特別定額給付金の対象とならない新生児を対象として、1人につき10万円を支給する

【衛生費】

★浴場施設感染症対策事業

100万円

町営公衆浴場における感染症防止対策の強化を図るもの

【観光費】

★生活応援商品券配布事業

1億680万円

全町民一律に配布する期限付きの商品券を5千円増額し、一般会計補正予算第4号で計上した5千円と合わせて1万円とする

【消防費】

★救急業務感染症対策事業

800万円

救急業務における感染防止対策のための資機材を整備

【教育費】

★給食費無償化助成事業

400万円

小中学校の給食費無償化事業の対象とならない児童生徒を対象に、給食費相当額負担軽

減事業を実施する

★教育支援員体制整備事業

270万円

夏休みの短縮して、授業などを実施するための特別支援員の配置に係る経費

★学校施設感染症対策事業

3130万円

夏休みの短縮による小中学校のエアコンの稼働時間増加と、屋内運動場等への冷風機の配備等を行うための経費

★学校保健特別対策事業

1350万円

「新たな生活様式」に伴う学校環境の向上を図るための経費

□物品購入契約

○消防車両更新事業

(白浜第2分団・第13分団)

【品名・数量】

消防ポンプ自動車 2台

【契約金額】

2750万円

【契約の相手】

上富田町朝来1407番地の4
和歌山日野自動車(株)田辺支店
支店長 田中 勝則

Pick up!

インフルエンザ予防接種費用の無償化について

高齢者、妊婦、小児、
小学校3年生〜65歳
未満で基礎疾患を有
する方が対象

(期間：令和2年10月1日〜

令和3年1月31日)



問 町民の約半数が対象者になるが、無償という理解でいいのか。また、案内通知はあるのか。

答 自己負担なく接種していただけ。65歳以上の方、妊婦、小児についてはご案内させていただくが、基礎疾患を有する方については、身体状況確認が必要のため、保健センターや福祉係等に身体障害者手帳を提出していただくか、主治医に意見書を書いてもらえれば、助成券を発行させていただきます。

問 町外で予防接種をした場合も助成対象となるのか。

答 いずれの医療機関で接種された場合も対象となるが、県外で接種された場合は、一旦自己負担いただく償還払いとなる。

Pick up!

生活応援商品券配布事業

全町民に1万円の商品券

使える店舗ふえてます



使い勝手が向上! 使用期限は令和3年 1月31日まで



問 前回のプレミアム付き商品券の使い勝手については、町民から様々なご意見があったと思うが、今回配布予定の商品券は、使える店舗の拡大等の取り組みをしているのか。

答 取り扱い店舗の募集をしており、8月6日の時点で、369店舗の申し込みがある。今回は商工会加盟店以外でも約40件、中には大手の店舗の申し込みもいただいている。これ以降についても追加で募集をしており、ホームページで順次追加更新していく。



ホームページは
こちら。店舗の一覧
は、こちらをご覧ください。

Pick up!

学校保健特別対策事業

新たな生活様式に伴い、学校環境の向上を図る



感染症予防対策として 学校施設の衛生用品、 清掃用品を配備

問 学校保健特別対策事業における感染予防対策については、国の補助金の対象となるこのことで、保健衛生の予算配分については、学校の生徒の人数割りしていくのか、教育委員会で現場に応じた措置をしていくのか。

答 これまでは町単費で教育委員会の中で一括して衛生用品を管理し、各学校へ配布していた。今後は国の補助金制度に基づいて配分し、保健衛生の部分については、各学校で用意していたくよう指示しており、人数割では配分しない。

問 社会情勢に応じた用途地域の見直しを

答 現況を検証し、的確に見直していく

問 白浜町の用途地域は昭和48年に指定され、以降一部改訂がなされてきたが、社会情勢の変化に応じた見直しが必要だと考えるが、当局の考えは。

答 都市計画マスタープランや用途地域等については、町づくりの基礎となるものであるため、その現況について検証し、的確な見直しを実施していきたい。

観光局、観光協会の統合は

問 南紀白浜観光局と白浜観光協会との統合について、6月から毎週のように統合協議拡大委員会が開かれ、統合に向けて協議を進めているとのことであるが、その進捗について伺う。



(白浜都市計画・準都市計画総括図)

答 統合の調整に必要な項目が多岐に渡り時間を要するが、統合のスケジュールは変更なく、予定どおり、今まで以上に推進力のある観光団体として、来年度当初から新たに始動できるよう協議を進めている。

問 有害鳥獣駆除の対策と後継者対策を

答 狩猟免許取得者の増加に努めたい

問 有害鳥獣駆除の今後の対策と、後継者対策について伺う。

答 本年2月に整備された田辺市の紀南射撃場の効果も期待しながら、引き続き狩猟免許取得者の増加や猟友会の会員確保に努める。

避難所運営について

問 椿小学校へ避難する場合、避難所まで行く県道が朝来川の氾濫により危険なため、避難場所を見直す考えはないか。

答 地元自治会の意見もいただき、変更や災害種別による指定等の協議を検討したい。



(避難所指定されている旧椿小学校)

答 組みと、職員体制について伺う。また、避難とは難を避ける行動である。災害時の避難の在り方を再確認する必要があると考えるが、町長の見解を伺う。

問 コロナ禍対応の避難所の取り

答 住民には分散避難をお願いしている。また、避難所の運営訓練を実施し、開設時には、職員の増員を調整する。避難所に避難することにはリスクがあり、自宅で避難するときは、事前にハザードマップ等を活用し、身の回りの災害リスクを把握することが重要である。



かたまた あつし 堅田 府利 議員



QRコードの有効期限は12月下旬まで



ながの そういち 長野 荘一 議員



QRコードの有効期限は12月下旬まで

問 湯崎保育園の新園舎建設の見通しは

答 一定の整理ができ次第、報告したい

問 耐震基準に満たない湯崎保育園は、老朽化で床や外壁の歪み、雨漏れ、三連動大地震も心配される。園舎について、町は危機感を持っているか。園児達と保育士を守る命の問題である。何年も対処を求め、やっと建設予算計上されたが、入札不落だったとのこと。今後の見通しと管理責任を問う。



(建替えが望まれる湯崎保育園)

答 新園舎建設について、本年度当初予算に建設工事を計上し、入札を執行したが、不調に終わり、調整を行っている。一定の整理ができ次第、改めて報告したい。

新たな企業誘致を

問 町人口の長期展望と居住意向の視点で町の課題と考えを伺う。

問 新たな企業誘致見直しと、テラワーク整備助成ができないか。

答 全ての産業におけるの振興、働く場所の確保が第一の課題である。その取り組みが進まなければ、他の施策を進めても人口減少に歯止めをかけられない。長期的な取り組みになるが、一次産業や観光産業の振興をはじめ、新たな産業誘致にも取り組みたい。

答 現在、県で制度化されているオフィス賃料補助や通信補助、航空運賃補助などの補助制度を検討していく必要がある。



みづかみ くみこ 議員 水上 久美子



QRコードの有効期限は12月下旬まで

問 医療福祉施設職員の検査に対する補助は

答 県の方針により、検査体制の強化が見込める

問 無症状の方が感染を広げている。政府はインフルエンザとの同時流行に備え、新型コロナウイルスの検査能力を1日20万件程度拡充する。医療福祉施設職員の検査の補助金支出はどうか。医療福祉、学校、保育園等の職員が体調不良の際、行政検査の体制を構築しては。

核兵器廃絶宣言の町として

問 核兵器廃絶宣言の町として、国に批准するよう働きかけては。毎年の原爆写真展に、ビキニ被爆や戦争犯罪を告発する展示をするなど、規模を膨らませても。

答 知事は、9月1日の会見で、PCR検査体制の拡充について方針が発表され、「検査体制の拡充などをさらに強化したい」と発言されており、県においては、感染者を早期発見し、行動履歴を徹底的に調べ、感染を事前に抑制している。このようなことから検査体制については、ご提言に沿うような形になっていくと考える。

答 核兵器禁止条約の批准に対する国への働きかけについては、加盟している平和首長会議より内閣総理大臣に対し、「核兵器廃絶に向けた取組の推進」に関する要請文が提出されており、加盟する全国の自治体とともに恒久的な平和、また核廃絶への取り組みがなされいる。

写真展については、従来、民間の団体において実施していたものを、諸事情により町が協力しているものであり、引き続き現状の取り組みを継承したい。



ひろはた としお 議員 廣畑 敏雄



QRコードの有効期限は12月下旬まで



※廣畑議員はこのほか、○富田中学校校体育館へのエアコン設置について質問をしました。

問 フィッシャーマンズワーフ白浜の今後は

答 指摘を真摯に受け止め、今後に生かしたい

問 開業時、指定管理者であった和歌山南漁業協同組合が町に提出した施設事業計画書の内容と、和歌山南漁業協同組合と株式会社フィッシャーマンとの協定内容に矛盾点が多かった。なぜ町は精査しなかったのか。

毎年、施設の什器備品等の無償貸与。温泉代や駐車場も指定管理者側の負担なし。町はこうした問題点の議論もせず、開業以来運営を続けている。町は今後どのような方針で臨むのか。

答 町として、その都度精査して取り組んできたが、当初と実績があまりにも違うということ、その見通しが異なってきた時点での説明が足らなかつたことは、たいへ



(フィッシャーマンズワーフ白浜)

ん申し訳ないと考えている。町としても、その取り組みは反省して

おり、この場をお借りして改めてお詫び申し上げます。ご指摘は真摯に受け止め、今後の行政運営に生かしたい。



み な み かつ や 南 勝 弥 議員



QRコードの有効期限は12月下旬まで

問 瀬田川と富田川の合流地点の堆積土砂をどうするのか

答 協議会と連携しながら、県に要望していく

問 昨年より富田川の堆積土砂の撤去工事が河口から6.2kmの上流までの範囲で実施されているが、工事内容について伺う。特に、内ノ川地区の瀬田川と富田川の合流地点の堆積土砂を根本的に撤去しなければ、再度水害が起これと考えるが、どのように考えているか。また、富田川の定義から外れている河口部分については、どのように考えているのか。

答 瀬田川と富田川の合流箇所については、現在の富田川水系整備計画には入っていないが、河道断面の減少や流下能力の低下が要因となつて影響が出る可能性があると考えるので、富田川改修促進協議会と共に強く県に要望したい。



(富田河口の砂洲部)

河口部分は県、町、協議会とも

認識しており、別事業や海岸工事等での整備や、年次的に対策をしていただけないか要望をこれからもしていきたい。



み ぞ ぐ ち こう たら う 溝 口 耕 太 郎 議員



QRコードの有効期限は12月下旬まで

問 辺地事業債活用に向けての進捗は

答 年度内に辺地総合計画を取りまとめる

問 辺地債は、充当率が百%で、元利償還金の80%が普通交付税の基準財政需要額に算入され、有利な財政措置であるが、その進捗状況は。また、過疎債から辺地債に乗り換えることは法的に可能か。

答 辺地事業債活用のため、各課に事業等の照会をし、年度内に辺地総合整備計画を取りまとめる。また、同事業を重複しての活用はできないが、有利な財源措置のある地方債の選択は可能である。

問 樅地区の辺地対策事業について伺う。

答 旧樅小学校の利活用含め、これから関係各課で取組可能な事業

を抽出し辺地総合整備計画を策定する。

県営・町営住宅の空き状況

問 樅県営住宅は築後25年以上経過しており、空室が多い。入居基準を見直す考えはないか。

答 入居資格等は公営住宅法等で規定されているが、入居促進を図るため、単身入居の拡充等について今後検討したい。

問 町営住宅の政策空き家の状況と対策について伺う。

答 現在7団地で66戸あり、条件が整ったものについて、随時撤去を行う等、適切な管理に努めたい。

問 湯崎地区漁業振興施設の屋上構造物について

答 法令順守を徹底した行政運営に努める

問 平成30年に行った建築基準法に基づく調査で、湯崎地区漁業振興施設の屋上にある2力所の木造構造物が同法に抵触するとのこと。指摘された構造物は、町の承認のもと指定管理者の負担により設置、改造されたと資料にはある。同法第12条に抵触することを知っておりながら、町は改修を承認している。町の責任は大きいものがあるのでは。

答 設置していたような簡易な構造が建築物に該当するかを各方面に確認したところ、様々な見解をお聞きしたので改造を認めたものであるが、ご指摘のとおり、町の責任は大きい。漁業振興施設は行政が所有する建物であり、公の建



(フィッシャーマンズワーフ白浜屋上の木造構造物、現在は是正されている)

物であるのなら、法に抵触することは許されない。今後は、細心の注意を払い、法令順守を徹底した行政運営に努める。



くすも たかのり 楠本 隆典 議員



QRコードの有効期限は12月下旬まで



(樅県営住宅)



まるもと やすたか 丸本 安高 議員



QRコードの有効期限は12月下旬まで

問 津波浸水地域にある日置小・中学校をどうするか

答 高台移転は将来的な課題としたい

問 日置川地域を対象とした過疎対策事業債（10力年計画）が、令和3年度に更新される予定だが、将来の町づくりを想定した時、現在津波浸水想定地域にある日置小・中学校に通う子供たちの生命は守れるのか。

答 学校施設の耐震化改修等に努め、完了したところであるので、現有施設を有効に利用することとし、学校施設の高台移転については、児童生徒及び学校関係者の安心安全面から重要なことと認識しているが、将来的な課題としたい。



（日置川事務所と日置川拠点公民館）

問 日置川事務所や日置川拠点公民館は、未だに耐震化が実施されておらず、今後、南海トラフ巨大

地震を踏まえ、高台への建て替え等が急務であると考えますが、当局の見解は。

答 日置川事務所と日置川拠点公民館の重要性は十分認識しているが、現下の財政状況を考えると直ちに検討できる状況ではなく、将来的な検討課題とさせていただきます。



こもり かずのり
小森 一典 議員



QRコードの有効期限は12月下旬まで

▷▷ 本会議の録画配信

議場で行われる本会議の様子を録画、録音したものをインターネットを通じて、配信するものです。傍聴にお越しになれない方などに、手軽に議会の様子を見ていただくため、直近の議会の様子を配信しております。



【閲覧方法】

- ① 白浜町ホームページを開く
- ② トップページの中ほどにある「白浜町議会」をクリック
- ③ 「議会録画配信」をクリック



こちらを読み取っていただくことでも、ホームページをご覧ください。



〈白浜町ホームページ〉
<http://www.town.shirahama.wakayama.jp/>

▷▷ 町議会・町議会議長の主な動き (7月～9月)

7月3日	大辺路衛生施設組合議会 (すさみ町)
9日	議会広報特別委員会
10日	富田川治水組合議会 (上富田町) 和歌山県議長会理事会 (和歌山市)
13日	公立紀南病院組合議会 (田辺市)
14日	議員定数等検討特別委員会 議員懇談会
22日	議会運営委員会 白浜町議会新型コロナウイルス 感染症対策会議 白良浜海水浴場安全祈願祭
27日	正副議長・議会運営委員長協議
28日	和歌山県後期高齢者医療広域連合 議会 (和歌山市)
29日	全員協議会 議員懇談会 富田川衛生施設組合議会
8月4日	紀南地区海上安全対策協議会 定例総会 (田辺市)
6日	田辺周辺広域市町村圏組合議会 (田辺市)
7日	第3回臨時会 議会運営委員会 全員協議会 議員定数等検討特別委員会 議会広報特別委員会
12日	富田共有財産組合委員会
18日	和歌山県議長会県知事へ要望活動 (和歌山市)

25日	議会運営委員会 白浜町議会新型コロナウイルス 感染症対策会議 はまゆう病院懇談会
27日	田辺市及び周辺町議会議長懇談会 (田辺市) 田辺周辺広域市町村圏組合議会 監査 (田辺市)
9月1日	第3回定例会第1日 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会 観光建設農林常任委員会 総務文教厚生常任委員会
10日	第3回定例会第2日 議会運営委員会 議員懇談会
11日	第3回定例会第3日 議会運営委員会 議員懇談会
15日	第3回定例会第4日 議員懇談会 議員定数等検討特別委員会 議会広報特別委員会



議員定数等検討特別委員会
適正な議員定数を考える

議会が、今後その役割を十分に果たすためには、議会制度や運営のあり方に加え、住民の理解を得られる議会づくり等、様々な方策を講じる必要がある。6月定例会において、当町議会の課題を抽出し、議員定数をはじめ議会活性化について検討する委員会を設置した。



その中で、まずは当町議会として適正な議員定数は何人かについて検討を開始した。委員会では、全国の町村議会の状況調査、他の町議会との比較検討、各委員にアンケート調査を行った。議決機関として、多くの意見を取り入れるには議員は多い方がよい。2万人の町民の代表として、減数となれば民意を反映させづらくなる等現状維持が妥当とする意見。一方で、今後の人口減少を考慮し、議会運営に支障をきたさ

ない数であれば減員すべき。議員の力量が大事であり、減員でも議員力を上げればよいといった減員が妥当とする意見などがあり、来年の1月を目途として、一定の結論を出すべく議論を交わしている。第1回を7月14日、第2回を8月7日、第3回を9月15日、第4回を10月15日に開催した。次回委員会は11月10日を予定している。



【議員定数に関する主だった意見】

現状維持	減員すべき
<ul style="list-style-type: none"> ■ 2万人の町民の代表として、定数を減らせば民意を反映させづらくなる。 ■ 意見を反映できる使命を行使すべきであり、現状維持が妥当。 ■ 人口減より議員減の方が大きいことから、減員すべきでない。(合併時から人口13%減、議員30%減) ■ 行政改革と議会改革は別である。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人口減少を考慮すれば、減員は必要。 ■ 減らす根拠として、民意を反映できる数が重要である。 ■ 減員がよいと考えるが、議会運営に支障をきたさない人数とするべき。 ■ 民意を反映させるためには、議員の力量が大事で、減員しても個々の議員力を上げればよい。

決算審査特別委員会 財 政 運 営 の 適 正 を 期 す る

決算審査特別委員会は、令和元年度の一般会計および特別会計 8 件の決算を審査するため、10月1日から10月6日までの内、4日間に渡って開かれた。予算が実際にどのような使われ方をしたのか、予算の使い方がより一層適切で効率的なものにしていくために、活発な質疑が行われた。各課から詳細な説明を受け、質疑



(津波救命艇の中、説明を受ける)



を行い、全体を通しての総括質疑の後に、すべての決算について認定した。最終日には、南海トラフ巨大地震を想定した町の津波対策として、「白浜浄化センター地震津波対策事業」にて完成した防潮扉、「白浜町富田津波救命艇設置事業」にて整備された救命艇について現地視察を行い、担当職員より説明を受けた。

決算審査報告書の総括意見については、次号にて掲載予定。

議会広報特別委員会 読 み 手 に わ か り や す い 誌 面 づ く り

議会広報特別委員会では、適宜、議会だよりの誌面の見直しを行っており、8月7日に開催した委員会の中でも様々な意見が出された。広報誌の役割を考えたとき、議会全体の活動を住民の皆さんに、いかにわかりやすく伝えていくことが重要であるとの意見や、一般質問だけで



(より見やすい誌面となるよう検討している)

なく、議案審議の際に質疑し、議論した内容についても伝えることも必要ではないかとの意見等が出た。これらの意見を踏まえ、バランスよく誌面を構成していくこととし、この11月号より誌面を一部変更している。

発委第8号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

提出者 議会運営委員長 南 勝弥

採決結果 可決（全会一致）

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。
- 5 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月15日 和歌山県白浜町議会

【提出先】 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 厚生労働大臣 経済産業大臣
内閣官房長官 経済再生担当大臣 まち・ひと・しごと創生担当大臣
衆議院議長 参議院議長

発委第9号 防災・減災、国土強靱化対策と地域経済復興に向けた社会資本整備の更なる推進を求める意見書

提出者 観光建設農林常任委員長 水上 久美子

採決結果 可決（全会一致）

防災・減災、国土強靱化対策と地域経済復興に向けた
社会資本整備の更なる推進を求める意見書

和歌山県においては、近年、頻発化・激甚化する台風や局地的豪雨への対策のみならず、近い将来発生が懸念されている南海トラフ地震への対策が喫緊の課題となっている。

そのような中、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の取り組みが最終年度を迎えるが、引き続き対策が求められる個所が県内に点在しており、また、老朽化の進む既存の社会資本は、災害時に被災しやすいなど国土強靱化の支障となっている現状にある。

現在、新型コロナウイルス感染症感染拡大による社会経済活動の停滞により、地域経済は大打撃を受け、危機的状況にあるが、今後は感染症への対策に万全を期しながら、地域経済の復興に向け早急に対応する必要がある、そのためには公共事業の推進が重要な役割を果たすと期待するものである。

については、防災・減災、国土強靱化に資する社会資本の着実な整備と一日も早い地域経済復興のため、必要な公共事業予算を安定的に確保し、防災・減災対策、さらには地域の特徴を生かしたまちづくりなどこれまで以上に推進する必要があることから、下記の事項に特段の措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 防災・減災、国土強靱化対策を推進するため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の後に続く新たな措置を講じ、必要な予算を安定的に別枠で確保すること。
- 2 今回の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に含まれていない社会資本の老朽化対策について、予防保全への転換に向け、計画的かつ着実な取り組みが推進できるよう特段の措置を講じること。
- 3 地方の社会資本整備を着実に推進するため公共事業予算の安定的かつ持続的な総額を確保するとともに、地域経済の早期復興を図るため公共事業を含めた追加的な補正予算を編成すること。その際、臨時交付金による地方負担軽減策を併せて講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月15日 和歌山県白浜町議会

【提出先】 内閣総理大臣 財務大臣 農林水産大臣 国土交通大臣 内閣官房長官
国土強靱化担当大臣 内閣府特命担当大臣（防災）
衆議院議長 参議院議長

次回日程

次回定例会（12月）の会期は、12月1日（火）から16日（水）までの予定です。

日	月	火	水	木	金	土
11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20 議会運営委員会 10:00～	11/21
11/22	11/23 (勤労感謝の日)	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28
11/29	11/30	12/1 開会日 第1日 提案説明等 10:00～	2 (休会) ※委員会開催や 議案調査のため	3	4	5
6	7	8	9	10 第2日 一般質問 10:00～	11 第3日 一般質問 10:00～	12
13	14 (休会)	15 第4日 議案審議 10:00～	16 閉会日 第5日 議案審議 10:00～	17	18 	19

12月議会の日程は、11月20日（金）開催予定の議会運営委員会で決定します。
詳細は、議会事務局（43-6591）までお問い合わせください。

編集後記

曼珠沙華がやっと咲き始めました。9月議会開会中は見かけることはありませんでしたが、花茎も猛暑に堪えていたのでしょうか。毒草ですが、鱗茎は薬用となるとあります。薬用ならば、この新型コロナに効いて欲しいと思うのは私だけでしょうか。

議案や一般質問は新型コロナ関連のものも少なくありません。議会だよりは、今号から誌面を刷新しています。いくつかの議案についての審議の様子や、一般質問も誌面の調整など、町民の皆様にはわかりやすい誌面づくりへと取り組んでおります。皆様のご意見もお寄せください。

この号がお手元に届く頃はツワブキの花咲く頃、鮮やかに咲き誇ってくれるでしょうか。（廣畑）

お知らせ

今議会より、議会広報の一環として一般質問の様子をFMビーチステーションにて放送しております。（76.4MHz）

多くの方に聞いてもらえるよう、また、新型コロナウイルス感染症対策として、議会の傍聴をお控えになる方に鑑みまして、限られた時間ではございますが、放送を始めました。今後の放送予定については、議会のホームページ等でお知らせいたしますので、是非聞いてみてください。

議会広報特別委員会

委員長 長野 莊一
副委員長 堅田 府利
委員 廣畑 敏雄
小森 一典
丸本 安高
溝口 耕太郎

町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ

